

保育 おおさか

平成16年1月1日 第341号

大阪府社会福祉協議会・保育部会

☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426

歩んだ道に

“光”

○厚生労働大臣表彰○

(保育事業従事者)

浅田三雄 (文化保育園)

(前号のつづき)

子たちに永遠の『平和』を



黒豆・魔よ
けとマメに暮
らせるように。
数の子・子孫
繁栄。ゴマメ・
田作りともい
われ豊年を祈

ります。きんとん・財の貯
まる願いを込める。蒲鉾・
形が日の出に似ているので
新しい門出として。あわび・
のし鮑、永続を表します。
八つ頭(里芋)・人の上に
立つ頭となるように。昆布・
子を産むに結びつきます。
海老・腰を曲げた姿と髭が
老人を表し長寿を意味しま
す。

他にもたくさんあります
がなんだかおわかりでしょ
う。お節料理の献立ですが、
皆さまも新しい年を迎え、
希望に満ちた様々なことを
願われたことと思います。
お節料理の由来は、節目
に行われた祝いのせきで、
神に供えた「御節供(おせ
ちく)」の略といわれてい
ます。重箱に詰めた料理に
するのは家事を担う主婦の
ためという節もあります。が、
本来は年神を祭る日に煮炊
きなど家事を慎み静かに過
ごすという意味なのだそう
です。

今年は順風万帆となれば
良いと思うが、そうはいか
ないと思います。レンコン
を食して将来の見通しがしつ
かり利くようにしましょう。

変革を飛躍のチャンスに

保育部会長 高岡 國士



小泉内閣誕生時の「待機児ゼロ作戦」の所信表明演説以降、保育制度のあり方が常に構造改革の大きな対象となってきました。そして、昨年は幼保一元化としての総合施設構想、公立保育所運営費の一般財源化が図られました。

一方、保育所の機能である子育て支援を取り巻く状況は、次世代育成支援計画で子育ての社会連帯が明確化され、さらに児童福祉法の改正で児童福祉として位置づけられ、そしてその対応が、市町村の義務付けとなりました。

現時点での制度改革で一番大きな影響を受けるのが、地方分権に伴う保育所運営費の一般財源化です。当然、市町村の単費補助の見直しが予想されます。これから、地方自治体とこれまでに以上の連携と信頼関係を築くことが重要になります。これまでも皆の力で難局を乗り越え、全国の保育界をリードしてきました。この先も「自分の園は自分で守る」という強い信念のもと、子どもたちのため、そして、福祉の向上と創意工夫を図り、変革期を飛躍のチャンスにしたいものです。

「子育て支援」—保育士の手で

保育士会長 武内 茂子

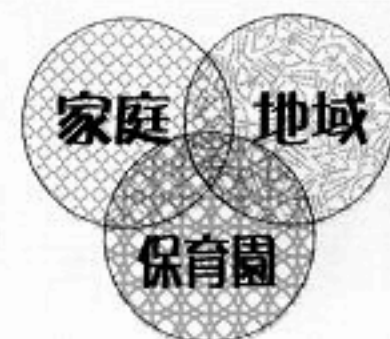


保育園を活かした子育ての場を地域社会に広めることにも努力したいものです。

近年、子どもの育ちのひずみなどがよく聞かれますが、日々共に遊び、生活している私たちは、そのことより可愛い仕事、驚く観察力、賑やかな話し声や笑いにさそわれ、楽しい保育が展開されていることを観る機会に恵まれています。子どもと共に過ごせるこ

とは、楽しく、すばらしい発見があり、成長過程に驚きや喜びがあることを機会あるごとに多くの人に伝えたいと思います。過ぎし秋、なみはやドームに集まった子どもたちや、保育士の元氣な姿を地域の子育て支援の場に役立ててもらいたいものです。

法的に位置づけられた次世代育成支援対策において、子育てのプロとして研修機会を充実し、倫理綱領をしっかりとらえ、安心と信頼を得る活動をしたいと思っています。



大阪府健康福祉部児童家庭室室長 藤田 哲士



少子化がすすむ中、次世代の大阪を担う子どもたちが健やかに育ち、府民の皆さんが、安心感と将来への明るい希望を持って子育てができるように支えていくことが重要です。

大阪府では、昨年9月に「大阪府健康福祉アクションプログラム（素案）」を

ため、各方面のご意見をいただきながら成案としてまとめて参ります。

一方、国におきましては、これまでの保育施策など仕事と家庭の両立支援に加え、男性を含めた働き方の見直しや地域における子育て支援にも重点を置いて、社会全体で少子化対策に取り組むべく「少子化対策プラスワン」を策定しております。これを具体化するため、地方公共団体及び企業による行動計画の策定などを内容とする「次世代育成支援対策推進法」及び「児童福祉法改正法」が昨年7月に成立しております。

策定しました。この素案は、府の独自財源を活用する施策について「子育て・子育て」「健康づくり」「自立を

求める人、支援を要する人の支援」を柱として、自立支援型のもとに重点的に取り組むことを目指し、再構築するものです。今後は、真に必要な健康福祉施策を持続可能なものとする

このように保育をめぐる制度の大きな改革が進められ、今後、保育所が地域と連携して、従来にも増し、創意工夫により柔軟で質の高い保育サービスを提供することが求められております。

次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、かつ、育成される環境の整備を図るため、家庭や地域、保育所が一体となって取り組む施策を全力で展開していきたいと考えております。皆様のより一層のご理解、ご協力をお願いいたします。

●意見交換会●



ブロック活動の支援強化を図るため、12月1日（月）薬業年金会館で、正副部長・ブロック役員・行政を交えた意見交換会を開催した。

まず、高岡部会長から中央情勢について、続いて大阪府児童家庭室藤田室長のあいさつ、そして同大町施設課長と水本家庭支援課長から、それぞれ保育行政の現状をお話いただいた。後半は、各ブロック長から、ブロックの抱える課題や問題点を報告しあい、解決に向けた討議がなされた。特に感染症については、子どもの人権に関わる問題であるため、各園ともその対応に苦慮しており、大阪府の一貫した指導を求める場面もあった。意見交換会終了後の懇親会でも、引き続き熱心な討論が行われた。

北大阪ブロック会

濱田 晋

平成16、年内外ともに大激動の年です。私たち保育園にもいろいろの波が、中には津波が押し寄せてきそうです。何としても団結して足元をみつめて乗り切っていく必要があります。

園児をみつめていると、無邪気に伸び伸びと笑顔で、成長しています。将来を担ってくれるこの子を大きな渦の中へ巻き込んではいけません。地域を見つめると子どもたちが減り老人が目立ちます。それでも小さい子を

北摂ブロック会

熊井 茂治

税財政改革（三位一体改革）により補助金の削減を進めるため、公立保育所運営費の人員費分が一般財源化されることになりました。また一方では、無認可保育所の認可化や施設整備を進め、待機児童解消を目指す

「一年の計は元旦にあり」波をのりこえながら、よい保育園を作り、保護者が安心して子育てできる環境作りをしましょう。

堺市民間保育園連盟

永野 治男

申の年はどんなやろうか？より厳しい年に近づく一年でしょう。昨年の補助金改革の嵐で、公立保育所の運営費が一般財源化された。「私立保育園の運営は今後とも国が負う」（政府与党が一致）、昨年5月27日大阪から440人も

の大動員で参加した「子どもを守る総決起大会」が、ここ一番で大きなボディブローとして効いている。政治には今後もより一層関心を寄せなければと思う所存！



頌春 ブロックからの年賀状



南大阪ブロック会

宮武 勲

イラクへの自衛隊派遣で揺れる年明けとなりました。派遣の賛否はともかくとして、復興支援が無事に終結してくれることが世界共通の願いでしょう。

昨年は保育所運営費の一般財源化や幼保一元化などの諸問題が一応避けられたものの、まだまだ少子化の中で厳しい風が吹くのは紛れもないことと疑いません。昨年末には、公立保育所の運営費の一般財源化が打

泉州民間保育協議会

田中正清

公立保育所運営費の一般財源化が決定し、いよいよ保育界にも改革の嵐が押し寄せて来た観があります。幼保一元化も含め、改革の推移を見守り、対処の方法を考えねばならない一年になるかと思っています。

今こそ、守るべき所は守り、改革すべき所は改革し、時代の要請に応じた保育園に転換して行く時かもしれません。今後、どのように制度が変わろうとも、我々

河内ブロック会

西岡 成典

世界の一部の地域では、戦争やテロが起こり、子どもたちが病気、けが、飢えなどにより、悲惨な所も多いです。日本は本当に平和な国だと思っていました。少し情勢が怪しくなってきました。自衛隊のイラク派遣が始まり、テロの可能性も高まり、不安が現実味を帯びてきました。どうか平和な1年であってほしいと願うばかりです。

現在、東大阪市では、待機児童対策を一番に取り組んでいます。平成17年4月には、現在よりも500人

